

研究室紹介

対人ケアマネジメント領域

リハビリテーション福祉工学研究室

教授 渡部一郎(連絡先:i_watanabe@auhw.ac.jp)

対人ケアマネジメント領域

リハビリテーション福祉工学研究室

主な研究テーマ

- リハビリテーション医学
- リハビリテーション福祉工学

主な担当講義科目

ヒューマンケア科学特論
病態生理学特論(老年学、温熱物理療法)、臨床病態生理学特論(呼吸器、筋骨格系疾患)

私は、リハビリテーション専門医、内科医、リウマチ科専門医としても診療活動している。その際、薬物より、気温・湿度、気候等の環境要因、温熱・寒冷等の物理療法、運動療法、補装具療法が有用であり、その適用と効果を、末梢循環動態、心拍数・血圧、運動機能(呼吸代謝)等の生理学的応答を検討している。

病態生理学特論では老年学、温熱物理療法等について、臨床病態生理学特論では、呼吸器、筋骨格系疾患、がんの発症要因として、生活習慣、喫煙・食事・運動などの疾患や生理機能への影響について検討・指導する。

論文発表:1.渡部一郎,熊谷光太郎,渋谷遥,徳原榮,渡部朋子:ノルディック杖歩行運動の呼吸代謝・末梢循環に及ぼす影響. Biomedical Thermology,36(2),40-44,2017

2.車椅子駆動の上肢・体幹運動が末梢循環に及ぼす影響,渡部一郎,渡部朋子,長門五城,, Biomedical Thermology 36 22, 2016

3.渡部一郎,渡部朋子:顕微鏡血流観察による有酸素運動前後の毛細血管血流速度の定量;日本温泉気候物理医学会雑誌 78 353-362, 2015

4.渡部一郎:気候療法と空气中マイナスイオン研究.日本温泉気候物理医学会総会(招待講演),2015

大学院進学を希望する方へひと言

医療では、多くの分野の介入データの集積が、その治療法の確立に有用である。